

2024. 12. 18 発表会を経て、好きが加速する

先週の発表会が終わりました。年長保育室では、いろいろな遊びが展開されていますが、鉄棒遊びがさらに盛り上がっているように思います。

「さかあがり」「足掛け前回り」「空中逆上がり」などの難しい技ができなかった子が、次々とできるようになったり、新たな技も次々と開発されていきます。

先日生まれた技の一つに、「モモンガ」「ムササビ」「つ」がありました。

「モモンガ」「ムササビ」は似ていますが、足の形が違います。

「つ」は、逆さでぶら下がるのですが、その体の形がひらがなの「つ」に見えたことから名づけられました。柔軟性、体幹、筋力をも必要とする技です。

「ムササビ」をしながらR子は「私、足が頭についたよ！」とさらに柔軟性をを見せてきます。

「モモンガ」は「ふたりモモンガ」をして楽しんでいました。

運動遊びであり、表現遊びでもあります。

その後のみんなの時間では、考えた技をみんなで共有し、全体で鉄棒に触れる機会を設けました。さっそく、「モモンガ」、「ムササビ」、「つ」を挑戦する子、連続技をする子などいろいろでしたが、そこで技の開発者がやり方を教えている姿も素敵でした。

先日の発表会で、オリジナル技の「王様あっちむいてほい」や「おなべ」「たきび」など披露し、保護者からたくさんの拍手や歓声をもらえた満足感。さらには、「逆上がり」や「連続空中逆上がり」、「足掛け前回り」などの難しい技を披露し、保護者から驚きともいえる反応をもらえた充実感。そういった気持ちからさらに鉄棒にのめり込んでいる姿も感じます。

そして、それを見ていた鉄棒グループ以外の周囲の子たちにとっても刺激になり、「自分もあの技をしたい！」とさらに頑張る姿にもつながり、集団としての高まりへとつながっていています。

この発表会という行事を経験していく中で、子供たちの「好き」がさらに加速していくような感覚を感じます。10月終わり、鉄棒で「てつぼうおいのり」や「こうもりバイバイ」などオリジナルの技を作ることを楽しんでいたY男も、昨日「先生！逆上がりができたよ！そして連続逆上がりも3回続けてできたんだよ！」と教えてくれました。その表情は自信に満ちていました。

さらに昨日は、『じごくまわり』というものがあるらしい。」という情報を得て、タブレットで調べる子供たちがいました。動画を見つけて「王様座りのまま一周するんだね！」「これは難しそう！」とつぶやきながら見ていましたが、終わるとすぐに練習を始めました。

その練習する姿がまた楽しそうなことに教師はとても驚きました。課題を見つけ、そこに向かっていくことを楽しんでいるようにも見えました。きっとそれは今までのプロセスの中で、鉄棒に対して肯定的な感情がしっかり芽生えていることや「王様座りまわり」という技はもうできるので、なんだかできそうな予感や手ごたえを感じていることなどいろいろな要因があるのかもしれません。

子供たちの今の姿を見て、次は義務教育学校の児童らの鉄棒の様子を見に行けるとよいのではないかと考えています。またどのように鉄棒遊びが広がっていくか楽しみです。

